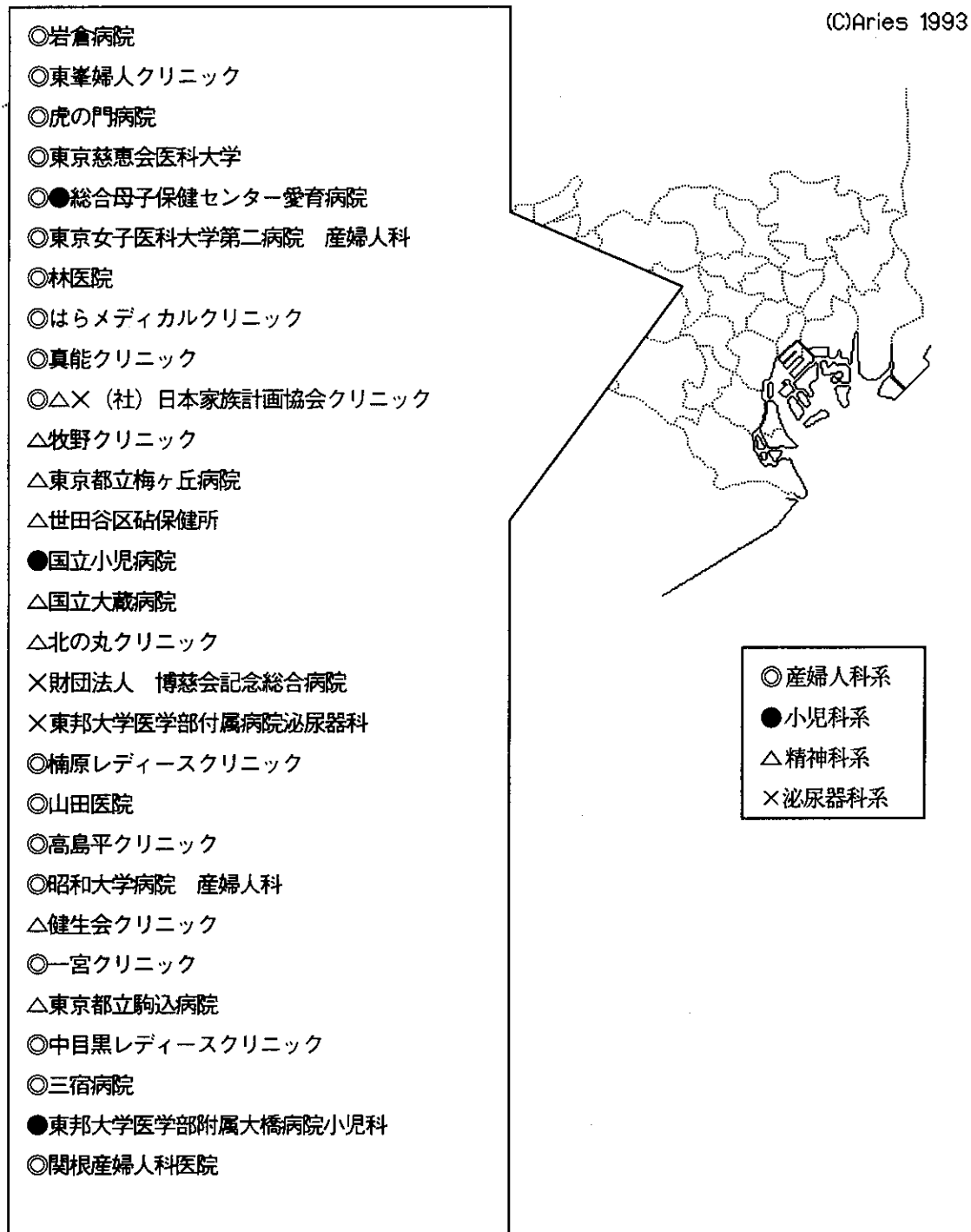
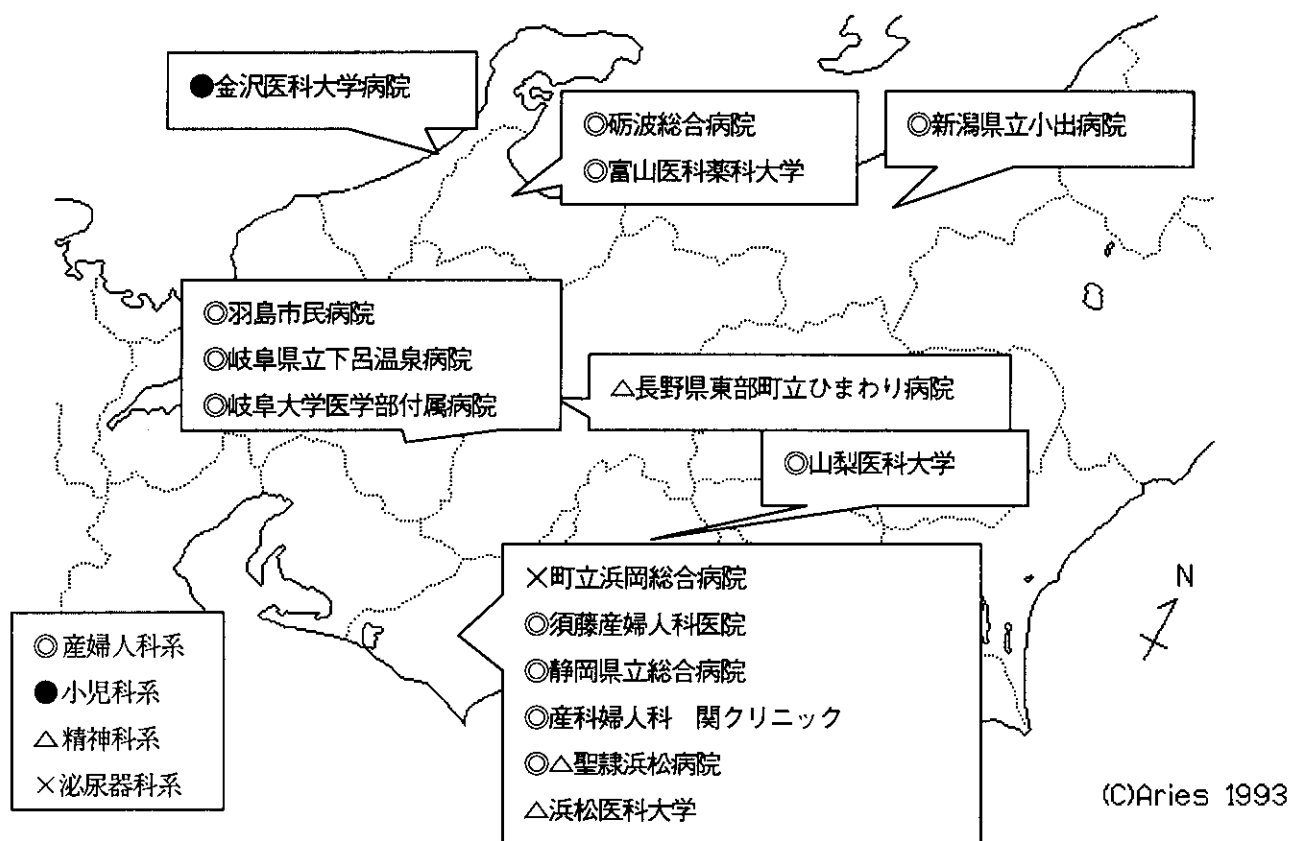


リニック					
三宿病院	産婦人科	東京都	153-0051	目黒区上目黒5-33-12	03-3711-5771
東邦大学医学部附属 大橋病院小児科	小児科	東京都	153-0044	目黒区大橋2-17-6	03-3468-1251
関根産婦人科医院	産婦人科	東京都	179-0085	練馬区早宮2-24-10	03-3931-5588

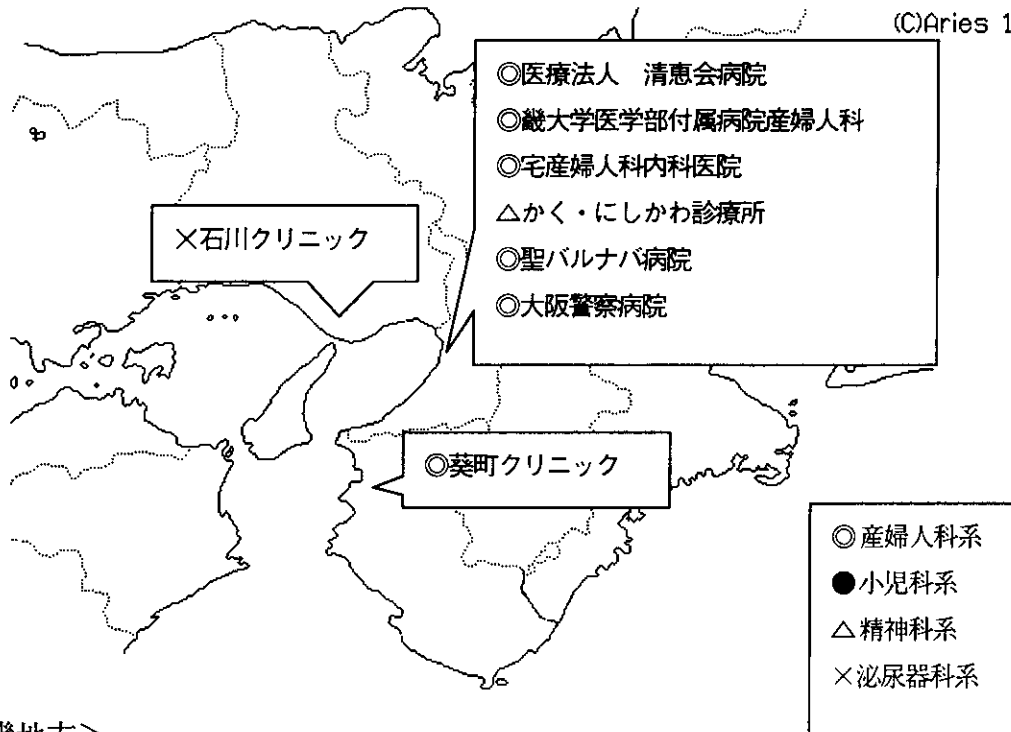
の対応に迫られ、「思春期の人々のヘルスニーズ」を主題とする専門委員会が組織され、1977年に報告書を提出している。その中で、健全な発育と発達を目指して出生前から始まる予防的保健サービスが必要であるとし、家族計画、小児のケア、保健面での家族訓練や、コミュニティーでの保健サービスに思春期の子ども自身を参



<甲信越・静岡地方>



医療機関名	診療科目	都道府県名	郵便番号	住所	電話番号
新潟県立小出病院	産婦人科	新潟県	946-0001	北魚沼郡小出町日渡新田3 4	02579-2-2111
砺波総合病院	産婦人科	富山県	939-1343	砺波市新富町1-61	0763-32-3320
富山医科薬科大学	産婦人科	富山県	930-0152	富山市杉谷2 6 3 0	0764-34-2281
金沢医科大学病院	小児科	石川県	920-0200	河北郡内灘町大字1-1	0762-54-5757
山梨医科大学	産婦人科	山梨県	409-3800	中巨摩郡玉穂町下河原1 1 1 0	0552-73-1111
長野県東部町立ひまわり病院	心療内科	長野県	389-0517	小県郡東部町大字県1 6 5 - 1	0268-62-0050
羽島市民病院	産婦人科	岐阜県	501-6206	羽島市新生町3-2 4 6	058-393-0111
岐阜県立下呂温泉病院	産婦人科	岐阜県	509-2206	益田郡下呂町幸田1 1 6 2	0576-25-2820
岐阜大学医学部付属病院	産婦人科	岐阜県	500-8076	岐阜市司町4 0	058-265-1241
町立浜岡総合病院	泌尿器科	静岡県	437-1612	小笠郡浜岡町池新田2 0 6 0	0537-86-8511
須藤産婦人科医院	産婦人科	静岡県	421-0103	静岡市丸子1-6-1 0	054-259-1446
静岡県立総合病院	産婦人科	静岡県	420-0881	静岡市北安東4-2 7 - 1	054-247-6111
産科婦人科 関クリニック	産婦人科	静岡県	432-8066	浜松市志都呂町6 6	053-448-6203
聖隷浜松病院	産婦人科	静岡県	430-0906	浜松市住吉2-1 2 - 1 2	053-474-2222
浜松医科大学	精神神経科	静岡県	431-3124	浜松市半田町3776	0534-35-2635
国立療養所天竜病院	小児科	静岡県	434-8511	浜北市於呂4 2 0 1 - 2	053-583-3111



<近畿地方>

医療機関名	診療科目	都道府県名	郵便番号	住所	電話番号
医療法人 清恵会病院	産婦人科	大阪府	590-0024	堺市向凌中町4-2-10	0722-59-3471
近畿大学医学部付属病院産婦人科	産婦人科	大阪府	589-0014	大阪狭山市大野東377-2	0723-66-0221
三宅産婦人科内科医院	産婦人科	大阪府	540-0033	大阪市中央区石町1-1-1	06-6966-3063
かく・にしかわ診療所	精神科	大阪府	542-0083	大阪市中央区東心斎橋1-16-21 心斎橋錦ビル3階	06-4704-7333
聖バルナバ病院	産婦人科	大阪府	543-0032	大阪市天王寺区細工谷1-3-32	06-6779-1600
大阪警察病院	産婦人科	大阪府	543-0035	大阪市天王寺区北山町10-31	06-3771-6051
石川クリニック	泌尿器科	兵庫県	658-0054	神戸市東灘区御影中町3-1-8	078-854-3322
葵町クリニック	産婦人科	和歌山県	640-8273	和歌山市葵町2-33	0734-32-7885

加させ、ピアカウンセリング（仲間同士の相談活動）プログラムを開発することなどが強調されている。

このような思春期のヘルスニーズに応えるための施設として、相談と診療を合わせ持つ思春期専門外来の存在意義がある。

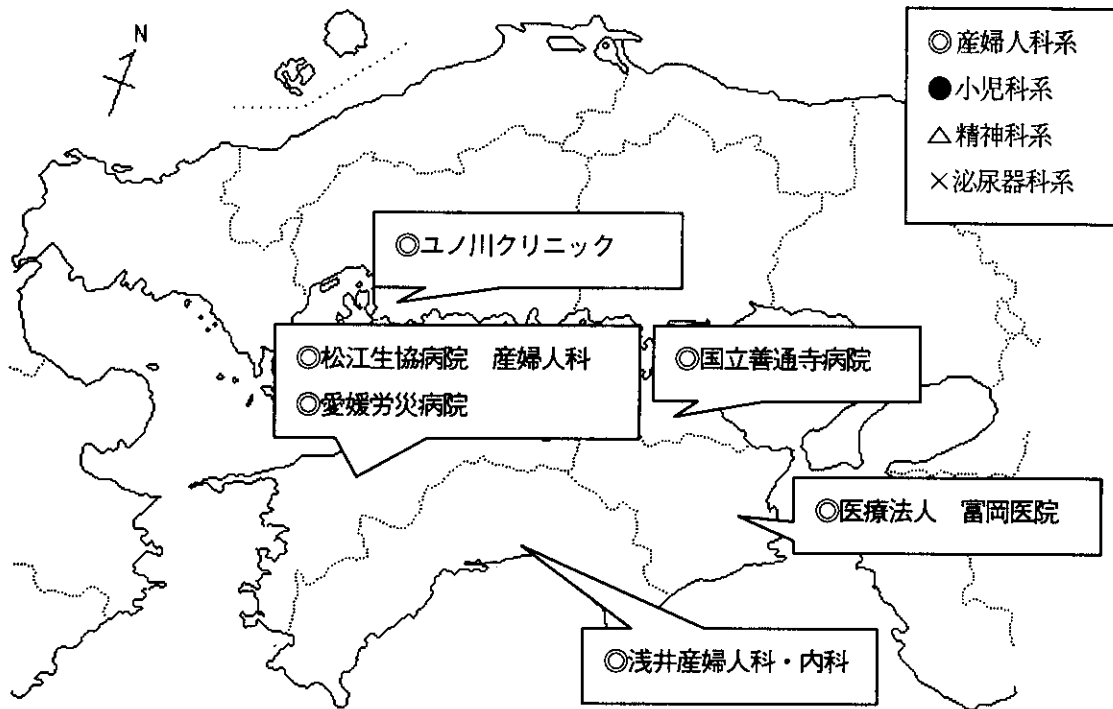
婦人科では1955年頃から欧米を中心として、思春期女子のための特別なクリニックが設けられるようになった。婦人科医が小児期や思春期女子の特殊性を理解せずに、成人女性と同じような態度で接し、同様な方法で診察を行ったら、おそらくその女子は婦人科医を嫌い、時には強い精神的苦痛を感じたり、

後に心理的障害を残したりすることを危惧したからである。

妊娠を予防するための保健対策として、青少年に対して無料で性に関する悩みの相談、避妊の相談や指導などを行う青少年のクリニック（スウェーデン、1975年）。十代の妊娠による学業からの脱落や繰り返す妊娠を防止することを目的に設置された School Based Clinic（学校をベースにおいたクリニック、アメリカ、1973年）などユニークな外来が開かれている。

特に産婦人科には、性器の診察をする診療科とい

<中国・四国地方>



医療機関名	診療科目	都道府県名	郵便番号	住所	電話番号
医療法人社団 ユノ川クリニック	産婦人科	広島県	730-0034	広島市中区新天地5-14-304	082-243-1515
医療法人 富岡医院	産婦人科	徳島県	779-3117	徳島市国府町日開973-1	088-642-8111
国立善通寺病院	産婦人科	香川県	865-0001	善通寺市仙遊町2-1-1	0877-62-2211
松江生協病院 産婦人科	産婦人科	愛媛県	690-0017	松江市西津田8-8-8	0852-23-1111
愛媛労災病院	産婦人科	愛媛県	792-8550	新居浜市南小松原13-27	0897-33-6191
浅井産婦人科・内科	産婦人科	高知県	780-8130	高知市一宮3381	0888-46-3131

うイメージがあって、受診には相当な抵抗があるようだ。医師が、十分な説明も行わないままに婦人科的診察を無理強いしたら、精神的苦痛を与えるだけでなく、将来の性生活に心理的障害を残すことにもなりかねないし、再度の受診を期待できなくなることもある。

私どものクリニックを訪れた女子高校生の言葉だ。「月経になると腰やお腹が痛くて、たまたま親に相談したら産婦人科で受診するように言われたんです。促されるままに外来の待合室に入って足がすくみました。談笑していた数人の妊婦さんが、急に話すのを止め私を睨みつけるのです。冷たい視線を感じました。「誤解しないで！私妊娠じゃないんだから」

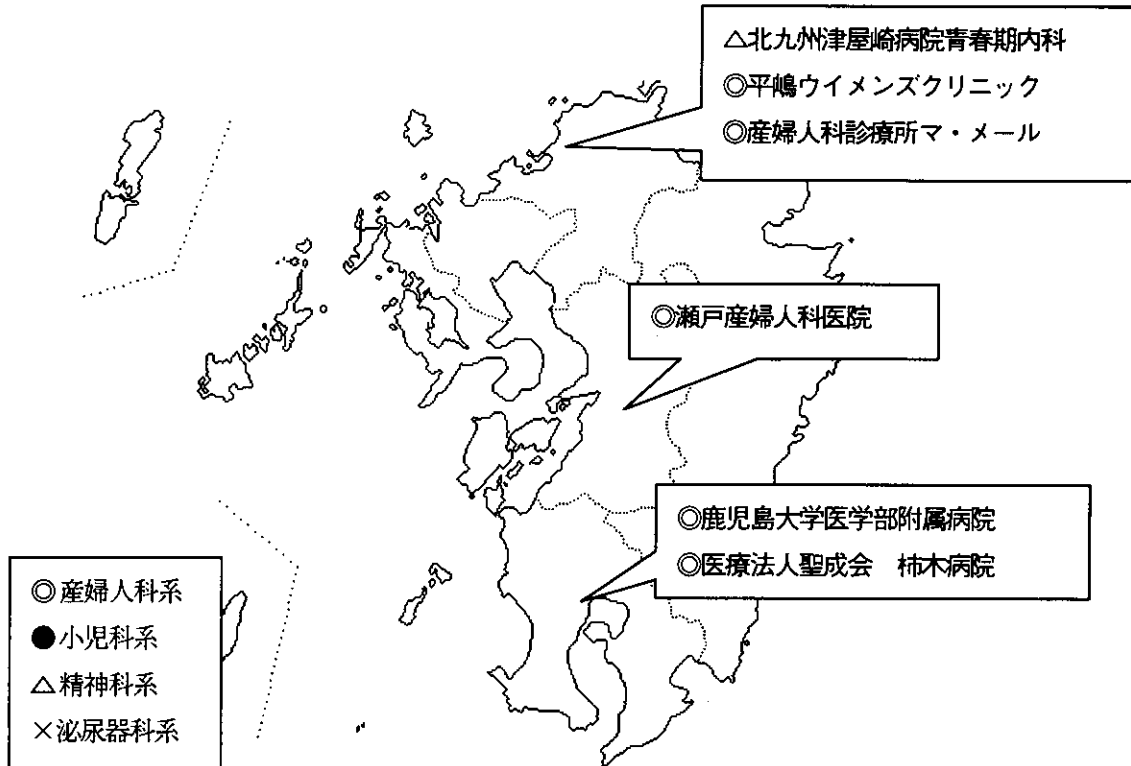
と叫ぼうとしましたが声が出ませんでした。もう絶対に産婦人科には行きたくない」

婦人科的疾患を抱える可能性のある女子や親が安心して躊躇せず受診でき、適切な診療が行われるように、一般の婦人科外来とは分離した思春期専門外来が必要である理由はこのような一面があるからだ。

わが国においても、このような反省を踏まえ、1962年に群馬大学に思春期婦人科外来が設置され、1982年には日本思春期学会が創設されたことなどを契機に、全国各地に産婦人科、小児科、泌尿器科、精神科、内科、など様々な診療科で思春期を対象とした専門外来が設置されるようになってきている。

今回の調査でも、104施設から思春期外来を設置

<九州地方>



医療機関名	診療科目	都道府県名	郵便番号	住所	電話番号
北九州津屋崎病院青春期内科	青春期内科	福岡県	811-3307	宗像郡津屋崎町大字渡1693	0940-52-0034
医療法人 平嶋ウイメンズクリニック	産婦人科	福岡県	810-0041	福岡市中央区大名1-9-33ソロン赤坂ビル7階	092-733-1877
産婦人科診療所マ・メール	産婦人科	福岡県	803-0851	北九州市小倉北区木町2-2-26	093-561-4047
医療法人瀬戸産婦人科医院	産婦人科	熊本県	868-0071	人吉市西間上町2578-1	0966-23-2137
鹿児島大学医学部附属病院	産婦人科	鹿児島県	890-0075	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	0992-75-5888
医療法人聖成会 柿木病院	産婦人科	鹿児島県	892-0846	鹿児島市加治屋町15	099-224-3939

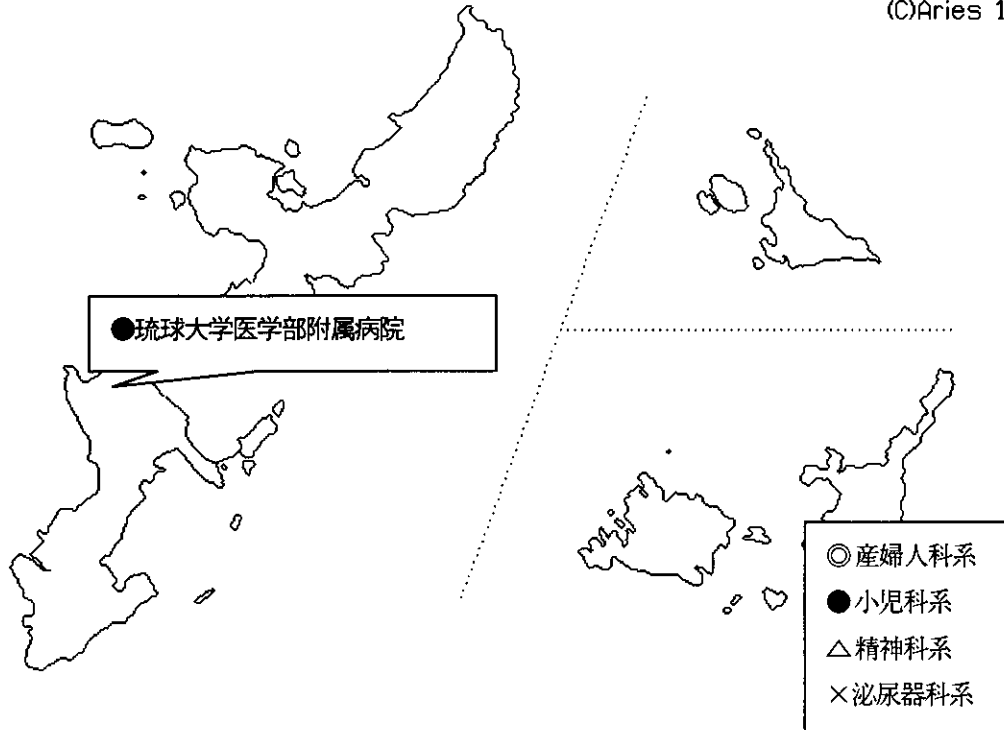
している旨の報告を受けたが、思春期専門外来マップにみるように、都市遍在の感は否めない。診療科目についても、日本思春期学会の会員分布を反映してか、産婦人科74施設、小児科9施設、精神科17施設、泌尿器科6施設という現状であり、男の子の性や心の悩みに対応できる機関が少ないことが課題として残っている。小児科での思春期専門外来設置が少ないのは、小児科が15歳位までを対象としており、日常診療の中で思春期への対応が十分にできていることを示唆しているものと思われる。

医療に当たる専門家も、その施設を利用する立場にある子ども達も、その必要性を認めている思春期専門外来ではあるが、現状はたとえば、マンパワーの不足、一人の診療に時間がかかる割には収入が見合わないなど開設を躊躇せざるを得ないような状況が医療機関側にはある。結果として、そのような施設を利用するチャンスを持っていないために、悩みや苦しみを解消できない子ども達も少なくない。

厚生省は1989年、日本家族計画協会のクリニックに運営費補助を開始し、1994年度からは全国でモデ

<沖縄>

(C)Aries 1993



医療機関名	診療科目	都道府県名	郵便番号	住所	電話番号
琉球大学医学部附属病院	小児科	沖縄県	903-0125	中頭郡西原町上原207	09889-5-3331

ル的に地方クリニックが開設されており、現在は4か所になっている。もちろん、僅かな予算で運営することはできないが、このような奨励補助をきっかけに、地方自治体などからのクリニック開設の動きが起こることを合わせて期待したい。

◎思春期専門外来のモデルとして

私ども日本家族計画協会では1982年9月から思春期のための電話相談を、その2年後の1984年7月からは婦人科診療を中心とした思春期外来を開設してさまざまな思春期の問題に対応してきた。1998年1月から12月末までに受けた電話相談件数は5,568件、外来を訪れた子どもたちは延べ2,647人であった。これら電話相談と外来での診療を併せて通称「オープンハウス」といっているが、まさに子どもたちのための「開かれた家」としての役割を果たしてきた。

本来思春期専門外来というのは、思春期の子ども

たちのさまざまな病気についての診断や治療を中心とした診療活動を行う場であるが、子どもたちが気軽に相談できる電話を媒体として相談に応じ、診療という二次相談に結び付けることにより、子どもたちの抱える問題の解決が図られるものと思われる。特に私どもが担当している婦人科診療では、世間一般が抱えている「婦人科」に対する先入観が障害となって、早期発見、早期治療を遅らせてしまう場合が少なくないが、電話相談を導入として活用したり、紹介制をとっていることもあって、中・高校生や大学生が待合室に溢れる明るい雰囲気クリニックづくりが可能となっている。

1. 思春期専門外来の風景

クリニックが設置されている十階建てのビルディングは、どこから見ても診療施設が存在するとはいい難い。この建物の二階に、子ども達を迎え入れるクリニックがあろうとは、とても考えられないからこそ、子ども達にとっては、一層気安さを感じさせ

るものとなっている。

建物に入ると、エレベーターがあり2階を押す。エレベーターが開くとそこがクリニックの入り口。受付には、髪を小さっぱりと整え、ピンク色のエプロンをつけた女性が笑顔で子ども達を迎える。受付カウンターは高級感を与える大理石調のものであり、待合室は白とピンクを基調として、床はダークグレイのカーペット、楕円形に近い白いテーブルが置かれ、子ども達の目を休めるパネル、ビデオを再生できるテレビなどが設置されている。

子ども達は、受付の女性から声をかけられ、診察に必要な一式の書類を手渡され、待合室へと通される。

待合室には、長机と10脚程度の椅子が並び、テレビやビデオの映像が子ども達の心を和ませている。同世代の子ども達の溜まり場でもある。

書箱には、子ども達から人気のある雑誌が置かれ、待合い時には気軽に本に目を通すことができるようになっている。

子ども達は、気安さもあってか、中・高校生なら制服姿でやってきて、試験を間近にしている時など、待ち時間にテーブルを使って勉強している姿が散見される。

初めての患者は、待合室に隣接する「カウンセリングルーム」へと導かれ、診察に必要な様々な情報が助産婦を通じて尋ねられる。この際、身長、体重、血圧など最小限の医療情報もカルテに書き込まれることになる。

その部屋に隣接して診察室がある。診察机、レントゲン読影用シャーカステン、受信機、冷蔵庫、消毒器、超音波断層診断装置、顕微鏡などがあり、カーテンを境にして、自動式婦人科診察台、器具戸棚がおかれている。婦人科診察台には、一般の婦人科診療施設に設置されているカーテンはかけられていない。患者との対話を大切にしながらの診療が、若い世代の子ども達の不安を除去するのに役立つと考えられるからだ。

診察室は単に診察や採血、治療の場に留まるものではない。「幸せかい」「試験はうまくいった?」「ホームステイの様子はどうだった」「職場訪問中

なのか?」など、矢継ぎ早に問いかけられる医師からの質問に、戸惑いながらも、笑顔で応える子どもの姿がある。もちろん、このような医療外の会話は、子ども達の閉ざされた心を開くために大きな役割を果たしているといえる。

診察後は、必要な検査を行った上で、処方された薬をもらい、受付で診療費の自己負担分を支払い、次の診察日の予約を入れて帰っていく。

2. 思春期婦人科診察の実際

(1) 問診上の注意

思春期外来を訪れる患者がたとえ小学生であっても、本人から直接問診するように努める。親と本人の訴えとが異なる場合もあるので、幼いという理由だけで親を同席させると、正確な情報が得られなくなることがある。もちろん、補足的な意味で、親からの情報収集も必要である。

親子とも婦人科診療に先入観と警戒心を持っていることがあるので、通常の内科や小児科とあまり変わらないことを雰囲気的に感じさせるような聞き方を心がける。受付の段階で、「思春期外来病歴」を手渡し、本人に無理のない範囲であらかじめ記入してもらい、その後、確認をとりながら、看護職あるいは医師が問診を進める。

- 1) 情報経路：学校や他の医療機関からの紹介患者である場合には、診察内容を概ね理解しているので、診察がスムーズに行える。
- 2) 患者の基礎データ：出生年月日、学年・職業、未婚か既婚かなど。
- 3) 家族歴：結核、高血圧、糖尿病などの家族歴を聴取することも重要だが、家族構成などを把握することで、摂食障害など精神的、心理的問題を抱えている患者への理解に役立つ。
- 4) 既往歴：ここではアレルギー性疾患や薬物過敏などの既往を問う。特に抗生物質などの処方の際には注意を要する。
- 5) 月経歴：初経年齢、初経より月経が正常になるまでの期間、月経周期、持続日数、随伴症状、月経前症状、最近の月経の様子、基礎体温測定の有無など。
- 6) 環境・食生活：無月経などには食住環境が大きく

影響する場合がある。

7)性経験：医療従事者と言えども性交経験の有無を問うことに抵抗を感じている者が多いが、質問者が羞恥心を持ったり好奇や批判するような態度で向かうと正確な情報は得られない。患者の主訴が月経の異常や不定愁訴であっても、根底に「性」の問題が深く関わっている場合があるからだ。仮に年少者であっても、「セックスの経験はないよね」というような否定的な問いかけをしないで、「セックスの経験はある？」と言葉を向けることが大切。性感染症（STD）の可能性を考慮するためにも、初交年齢、過去にセックスした相手の数、避妊を行っていたかどうか、妊娠、STDの既往を把握する。

8)現病歴：思春期婦人科外来における主訴は、無月経、月経異常、出血、帯下、掻痒、下腹痛、腰痛、奇形、腫瘍、乳房異常、尿路障害、性病不安、妊娠不安、避妊、その他などがある。医師として、患者から聞き出した秘密は絶対に守ることを伝え、悩んでいること、困っていることなどを正確に伝えることが、よりよい医療を受けるためには大切であることを理解させる。今回の主訴で、他の施設での診察、治療が行われているか否かも知っておきたい。

(2) 診察法

思春期の子どもに限らず、一般に婦人科での診察に先入観や偏見をもって来院している患者が少なくないので、いかなる診察に際してもインフォームド・コンセント（十分な説明を行った上での同意）を怠らないこと。仮に説明後も拒絶姿勢が見られるならば、決して無理強いせず、次回以降の来院時まで診察を差し控える配慮が必要。無理強いすることで、患者-医師関係が崩れてしまうと、その後の診療に大きな支障が生じるからだ。

そのためにも、身長、体重、血圧などの計測に加えて、体格、栄養状態、顔貌、皮膚や粘膜の色調など以下に挙げるような身体各部の診察から始めて、患者の診察へのためらい感を徐々に取り除いていくことが大切。

1) 内科的診察法

①医師は患者と真正面に向き合って坐り、ゆとりを

もって診察できる位置を保つ。

②思春期外来では、二次性徴の発現の有無と進行度のチェックが必要であることを伝え、頭部から順に診察を開始する。眼鏡使用者には、破損しないよう注意しながら、眼鏡をはずさせ机の上などに置く。

③皮膚の色調、頭髮の量、顔貌、眼球運動や口角の異常、多毛の有無、眼球結膜、眼瞼結膜、翼状頸の有無、耳下腺、顎下腺、甲状腺や頸部リンパ腺の腫脹など頭部、頸部の異常をチェックする。丁寧に患者に接することによって、婦人科での診察が内診に終始するものではないことを理解させる。

④胸部の診察に当たっては、下着、上着を含めて捲りあげるようにさせ、脱衣までは求めない。ワンピースなど上半身だけの露出が困難である場合には、羞恥心を抱かせてしまうことがあるので、タオルなどを肩から掛けてあげる配慮が必要。

胸郭の形状、両側腋窩リンパ節の腫脹の有無。胸部の打診後、心音の整、不整、心拍数、心雑音の有無、肺部の聴診を行う。躯幹に多毛を認める場合には、背部の多毛についてもチェックする。

乳房の形状、左右の対称性、乳輪、乳頭の色や形態の異常をチェックするとともに、必要ならばノギスを用いて、乳輪と乳腺の大きさを測定する。また乳房をタンナー分類にしたがって分類しておく。内分泌検査後、血清プロラクチン値が高値である患者に限り、十分な説明を加えた上で、乳汁分泌の有無を確認する。

⑤内診など婦人科的診察を要しない患者では、ベッドに誘導して下腹部の診察を行うことを告げ、仰臥位をとらせズボンやスカート、下着を恥骨あたりまで下ろすように促す。この際、羞恥心を持たせないように、タオルなどを用いて下半身を覆ってあげる。

両側の膝を立てて、腹部を視診、触診し、皮膚の色調、腹部の形態、膨隆、抵抗、腫瘍の有無などを速やかにチェックする。月経困難症などで来院した患者では、自分の手で、痛みを感じる部位や範囲を指示させた上で、圧痛の有無と部位を改めて確認する。

その後両膝を伸ばさせて、腹部の打診を行うとともに、さりげなく下着を挙上し、瞬時に陰毛の有

無、生え方、範囲、量などを見、タンナーの陰毛分類によって分類する。診察を終えるにあたり、ズボンやスカートをさりげなく失礼にならない範囲でたくし上げて、下肢の浮腫の有無や体毛の状態を観察する。

2) 婦人科的診察法

婦人科の診察では内診が不可欠と考えがちだが、思春期の場合、例えば不正性器出血にしても機能的ものが大半であり、止血剤やホルモン剤の投与で止血するか否かを確認してからでも手遅れになるとは考え難い。患者－医師関係を築き、インフォームド・コンセントを得てから婦人科的診察を開始するくらいのゆとりを持ちたい。もちろん、診察の緊急性、重要性は診察にあたる医師の判断によるわけで、患者に対する気遣いのために婦人科的診察を後回しにすることがあってはならない。

性交経験のある患者では、主訴とは関係なくても妊娠やSTDを考える格好の機会となるので、患者の同意を得て内診を含めた診察を積極的に行う。性交経験がない場合には、原発性無月経、膣炎、外陰炎、止血剤やホルモン剤を投与しても止血しない、月経困難症の原因が子宮内膜症など器質的疾患によると考えられる、などでは婦人科的診察を怠らない。この際、患者が未だかつて自身の性器を観察したことがない場合には、診察に入る前に手鏡を渡すなどして、性器の構造をきちんと学習させることを心がける。

(性交経験を持つ患者の場合)

婦人科診察台の上で仰臥、開脚した患者に対して、右利きの医師は患者の左側に、左利きの医師は右側に立って診察を行う。

- ①下腹部を視診、触診しながら、腹部の形態、膨隆、腫瘍、手術創の有無、陰毛の生え方、範囲、量などをチェックする。
- ②外陰部、特に大陰唇、小陰唇、処女膜、クリトリス、尿道口、肛門などに目を向け、皮膚や粘膜の色、形態の異常、疣、潰瘍、尿道ポリープの有無などをチェックする。
- ③腹壁側に置いた母指と人差し指で膣入口部を開口させ、内診指の人差し指で小陰唇を外側に開くよう

にしながら、潰瘍、水疱、疣の有無と帯下の性状、色、量などをチェックする。

④膣入口部の状態を確認の上、膣鏡(クスコ)を選択し、膣内に丁寧に挿入する。その際、挿入が困難な場合には、リウブゼリーなど潤滑液の使用を考慮する。

⑤クスコ挿入時に、膣壁の性状、色、浮腫の有無、膣分泌物などをチェックする。開口後、子宮膣部、頸管に目を向け、色、帯下、子宮頸管粘液の性状をみるとともに膣部びらんの有無、範囲、ポリープの有無、形態や大きさなどをチェックする。この際、必要に応じてクラミジアや淋菌検査のための検体を採取したり、子宮膣部と頸管部の細胞診検査を施行する。思春期外来では稀であるが、子宮内膜を採取することもある。

⑥クスコを注意深く抜去した後、内診指で両側の陰唇をやさしくつかみ、バルトリン腺の腫大の有無をチェックするとともに、人差し指を挿入して、尿道を圧迫し排膿があるか否について確認する。

⑦丁寧に内診指の第二指、第三指を合わせて膣内に挿入し、膣壁、膣一直腸隔壁とダグラス窩を触診し、腫瘍の有無を確認する。その際、第一指がクリトリスに接触しないよう十分注意すること。仮に直腸側に便以外の腫瘍を確認するならば、その後直腸診を行うとか、消化器外科への紹介を怠らないこと。

⑧通常利き腕の手指を腹壁に置き、第一指を除く四指を使って腹壁を圧迫し、膣・腹壁双合診を行う。この際、子宮の大きさ、硬度、形態、位置、可動性、左右の付属器の性状などを正確に確認する。挿入指と圧迫指で付属器の性状を確認する際、患者から圧痛の有無やその強さを表現してもらう。

⑨インフォームド・コンセントを得た上で、必要に応じて膣式プローブを挿入して超音波診断を行う。この際、画面を患者側に向けて、説明をしながら行うと、患者・医師関係をより円滑なものにすることができる。

⑩看護婦に依頼して、外陰部に付着した血液、分泌物、ゼリーなどを丁寧に拭き取った上で、診察台から降ろすようにする。出血がある場合には、十分説明した上で、ナプキンを当てるとか、経験のある場

合にはタンポンを挿入するなどの配慮も大切である。
(性交経験を持たない患者の場合)

性交経験はないが、タンポン使用の経験があるとか、性交経験者と同様な診察が可能な状況があれば、前述した方法で内診を行う。

婦人科診察台の上で仰臥、開脚した患者に対して、右利きの医師は左側に、左利きの医師は右側に立って診察を行う。

①下腹部を視診、触診しながら、腹部の形態、膨隆、腫瘍、手術創の有無、陰毛の生え方、範囲、量などをチェックする。

②外陰部、特に大陰唇、小陰唇、処女膜、クリトリス、尿道口、肛門などに目を向け、皮膚や粘膜の色、形態の異常、疣、潰瘍、尿道ポリープの有無などをチェックする。原発性無月経などの疑いで来院した患者では、膣の存在の有無、処女膜閉鎖の有無などを慎重に確認する。

③腹壁側に置いた母指と人差し指で膣入口部を開口させ、内診指の人差し指で両側の小陰唇を外側に開くようにしながら、潰瘍、水疱、疣の有無と帯下の性状、色、量などをチェックする。

④膣入口部の状態を確認の上、可能ならば最小（SSS）のクスコを選択し、膣内に慎重に挿入する。その際、挿入が困難な場合には、リウプゼリーなど潤滑液や時には局所麻酔剤を含むゼリーなどの使用を考慮する。

⑤クスコ挿入時に、膣壁の性状、色、浮腫の有無、膣分泌物などをチェックする。開口後、子宮膣部、頸管に目を向け、色や帯下や子宮頸管粘液の性状をみるとともに膣部びらんの有無、範囲、ポリープの有無、形態や大きさなどをチェックする。必要ならば子宮膣部と頸管部の細胞診検査を施行する。思春期外来では稀であるが、子宮内膜を採取することもある。

⑥クスコの使用が困難な場合には無理矢理行わず、慎重にゾンデを挿入し、膣内の状態を確認する。成熟指数などの診断のためには、耳鼻咽喉科で使用する綿棒などを挿入し、膣壁細胞を採取する。

⑦丁寧に内診指の第二指あるいは第三指の一指のみを直腸に挿入し、直腸内の診察するとともに、膣・

直腸隔壁を通して、膣内の状態、ダグラス窩を丁寧に触診し腫瘍の有無を確認する。直腸診を行う際には、十分に説明し診察について同意を得ることや、リウプゼリーを塗布してから挿入するなどの配慮を怠ってはならない。仮に直腸診で便以外の腫瘍を確認するならば、消化器外科に紹介すること。

⑧通常利き腕の手指を腹壁に置き、第一指を除く四指を使って腹壁を圧迫し、直腸・腹壁双合診を行う。この際、図のように、子宮の大きさ、硬度、形態、位置、可動性、左右の付属器の性状などを正確に確認する。挿入指と圧迫指で付属器の性状を確認する際、患者から圧痛の有無やその強さを表現してもらう。

⑨インフォームド・コンセントを得た上で、必要に応じて膣式プローブを直腸内に挿入し超音波診断を行うことがあるが、腹壁プローブでの診断で十分であると判断するならば、無理に行わない。この際、画面を患者側に向けて、説明をしながら行くと、医師・患者関係をより円滑なものにすることができる。⑩看護婦に依頼して、外陰部に付着した血液、分泌物、ゼリーなどを丁寧に拭き取った上で、診察台から降ろすようにする。出血がある場合には、十分説明した上で、ナプキンを当てるとか、経験のある場合にはタンポンを挿入するなどの配慮も大切である。

(婦人科診察台での診察が困難と思われる思春期前の子どもや障害者の場合)

ベッド上で胸膝位あるいはシムスの体位をとらせると見落としが少なくなる。外陰部の視診などは前述した形で行うが、膣内の観察には、例えば胸膝位をとらせて、臀部をできるだけ突き上げた状態にし、両手の第一指を使って陰裂を外側に向けて開くようにする。「息を吸って」「息を吐いて」を何度か繰り返しながら、外陰部を観察していると、吸気に一致して膣入口部が大きく開かれて、膣内の様子が一目瞭然わかる。思春期前の子どもでは、クスコを使用することは困難であり、耳鏡あるいは鼻鏡をこれに代用させることで診察が可能となる。懐中電灯を用いることもあるが、額帯鏡によって光を膣内に向けて診察する方法が有効である。時にはヒステロスコープを膣内に挿入して観察することもある。

3) 内分泌検査

無月経を主訴とした患者に対する内分泌検査の進め方についての詳細は、他項に譲るが、内分泌異常を疑う場合に行う一般的検査をここに示した。

①まず、大脳-視床下部-下垂体-卵巣とが互いに作用し合いながら、排卵-月経の仕組みが成り立っていることを、卵巣から分泌されたホルモン量によって子宮内膜が周期的に変化し月経あるいは妊娠が起こることを、パネルなどを用いて体系的に説明する。

②初経が遅れている女子には、①に示した器官のいずれかに欠陥があるか、時には膣が先天的に閉鎖していたり、処女膜閉鎖のために膣内瘤血腫があるとか卵巣や子宮などが先天的に欠損している可能性を示唆しながら、だから婦人科的診察が必要であることを十分にわからせる。

③医療の側で援助できること、患者として取り組んで欲しいことを提案し、中学生以上ならば基礎体温を測定すること、小学生ならば月経記録をつけることについて同意を得る。医療の側からは、下垂体や卵巣から分泌されているホルモンを測定することによって、診断の確定と治療方針の作成に役立つことを説明し同意を得た後採血する。

④内分泌異常で来院したと思われる患者については、下垂体前葉から分泌されている性腺刺激ホルモンとしてのFSH（卵胞刺激ホルモン）、LH（黄体化ホルモンあるいは黄体形成ホルモン）、乳汁分泌ホルモンであるPRL（プロラクチン）、卵胞ホルモンを代表するE2（エストラジオール）ならびにテストステロンの5項目をルーチンに測定する。

⑤初診時の検査結果を踏まえた上で、ホルモン負荷試験（LH-RH試験）を行う。やせの著しい患者ではTSH、T3、T4の検査を追加する。

4) 膣内微生物検査

①保険診療に際しての留意点

膣内微生物検査にあたっては、その目的と、方法を患者に十分説明した上で実施する。保険診療で行う場合、STDの疑いがあっても、クラミジア感染症、淋病、カンジダ膣炎などの複数疾患の検査を一度で済ませることは原則認められていない。主訴や

臨床所見を十分に検討しながら、検査を絞り込む必要がある。

②検体の採取法

クスコを用いて検査が可能な年齢では、綿棒を用いるなどして細菌学的検査のための検体を採取することができるが、思春期前の患者では、細いガラスカテーテルの先に生理的食塩水を満たしたものを用いると便利である。先端をなめらかに丸くした金属製あるいはガラス製の器具を使う方が綿棒よりも不快感が少ないようだ。

③各種検査法

a. カンジダ：スライドグラス上に生理的食塩水を一滴滴下し、そこに綿棒で採取した帯下を塗布し鏡検する。孢子、菌糸をみることで診断する。また簡易診断用培地として水野高田培地が使われる。

b. トリコモナス：スライドグラス上に生理的食塩水を一滴滴下し、そこに綿棒あるいはピンセットで採取した帯下を塗布し鏡検する。トリコモナス原虫は白血球より大きく、鞭毛を動かして活発に運動しているので容易に診断が可能。

c. クラミジア：クラミジア・トラコマティスの検出は分離培養法で行われているが、操作が煩雑であることもあって、一般には蛍光抗体法（Micro Trak法など）や酵素抗体法（Chlamydiazyme）による抗原検出法が使われている。最近ではクラミジア・トラコマティスのリボゾームRNAを検出するDNAプローブ法も開発されている。しかし、このような抗原検査の場合、特に子宮頸部では頸管粘膜を十分に除去して検体を採取しないと偽陰性になりやすいので注意を要する。

抗体測定法も骨盤内感染や直接検体採取が困難な場合には有用であるが、偽陽性の可能性も踏まえた対応が必要である。

d. 淋菌：淋菌感染症の診断方法としては、直接染色検査法（グラム染色、蛍光抗体染色）、淋菌の分離培養、酵素抗体法、DNAプローブ法などが有用。

5) 膣細胞診

①細胞診の意義

膣壁細胞は、卵巣から分泌されるホルモンの影響を受けて変化している。例えば、エストロゲンが優

位な場合には、核濃縮、好酸性表層細胞が、一方排卵後のプロゲステロンが優位な場合では、白血球が多くなり、好塩基性で、細胞の周辺がめくれているような中層細胞が増えてくる。これらの特徴を踏まえて、膣壁細胞診を行うことで、ある程度まで卵巣機能を判定することができる。

②検体の採取法

原発性無月経や遅発月経の疑いのある思春期女子の場合、クスコを使用することが困難であるが、長めの綿棒を静かに挿入し、膣の上方3分の1位の膣前壁、側壁を軽く擦過し、スライドグラス上に塗抹し固定液で固定する。一般にはババニコロウ染色が用いられる。

③成熟指数の見方、読み方

膣壁細胞診で卵巣機能を判定するには、一般に成熟指数を用いる。100個の細胞を傍基底細胞/中層細胞/表層細胞の順にその数を、0/40/60のように表現する。傍基底細胞の数値が増加する場合を左方移動、表層細胞が増加する場合を右方移動という。幼児、小児期は左方移動から徐々に中層細胞が増え、思春期になると、右方移動の傾向が強まり、月経周期に伴い、エストロゲン優位では表層細胞が、プロゲステロン優位では中層細胞が増加する。

6) 基礎体温測定

①基礎体温測定の意義

女性の場合、排卵に伴って増加したプロゲステロンが体温調節中枢に影響を及ぼして体温を上昇させることがわかっているが、これを応用し卵巣の機能を推測するのが基礎体温測定の意義である。排卵の有無、妊娠しやすい時期や避妊をしなくてもよい時期の推定、黄体機能不全、妊娠の早期診断、女性のヘルスケアなど、利用方法は多様である。

②測定法と留意点

一般には市販されている婦人体温計を用いて測定するが、朝方目を醒ました時に、トイレに行くとか着替えをする前の安静状態で、口腔内(舌下)で3~5分位測定し、その結果をBBTメモリーなどに記載しておく。計り忘れや生活が不規則で測定できないと訴える女性がいるが、おおむね3時間程度の睡眠後であれば、時間に関係なく計測し、その旨を

備考欄に記入しておくよう薦める。

③基礎体温の見方、読み方

松本は基礎体温曲線を6つのタイプに分類している。その結果、I~IV型の2相性曲線は排卵性周期、1相性であるVI型は無排卵性周期、V型はほとんどが黄体機能不全、あるいは無排卵性周期であるとしている。

基礎体温を読む場合、一日一日の計測値よりも、数日間の単位で全体像として評価することを心がけた方が誤りが少ない。排卵の時期についても、低温相の陥落日というような表現は正しくないし、超音波断層法によって確認された排卵時期と合わせて考慮すると、低温相から高温相への移行期を中心にした前後2日間、すなわち5日間位というような大ざっぱな表現の方が適切だと思われる。中には、明らかな2相性を示しながら無月経や無排卵であったり、黄体存続による高温相の異常持続があって妊娠と見間違われる場合もある。前者ではプロゲステロン値の測定を、後者では妊娠反応や超音波断層法を用いての確定診断を要する。

7) 染色体検査

思春期外来では、特に外性器、内性器の奇形や原発性無月経などにおいて染色体検査を実施することが重要になる。採血後、速やかに白血球を分離細胞して検索することもあって、実地医家には困難である。正常男性では46, XY、女性では46, XXを示すが、X染色体由来のX-クロマチン、Y染色体由来のY-クロマチンの検索によって、染色体異常の診断が可能になる。

(3) 思春期婦人科診療の実際

婦人科を中心とした思春期外来では「月経」と「妊娠」、「STD」が主要なテーマになっている。

例えば、「月経」については、以下の問題が起こった場合に、受診を促すようにしている。

- ①15歳になっても月経がない。
- ②月経のない状態が3か月以上続く。
- ③月経が8日間を超えている。
- ④月経の前後に、耐えがたい痛みがある。
- ⑤月経周期とは、月経の初日から次回月経の前日

までの期間と定義し、25日～38日を正常としているが、これをはずれるような場合。

⑥おりものがある、においが臭いとか、かゆみがある。

⑦妊娠不安

以上大ざっぱな目安を述べたが、思春期の子どもたちの婦人科的疾患には、例外を除いて、大人に見られるような子宮癌や卵巣腫瘍などは稀であるので、はじめから内診などの婦人科診察をしなくて済む場合が少なくない。無用な心配をせずにまず受診させたいものだ。月経の異常については、基礎体温を測定して、受診に当たっては基礎体温表を持参することが望ましい。

受診に当たっては、診察しやすいように、胸が開けやすく、お腹を出しやすい服を着てくるのは患者の最低のマナーである。年齢的にみて、化粧する習慣のある女性は少ないが、化粧やマニキュアを避けて、医師が判断を誤らないような配慮が必要だ。

原発性無月経といって、年頃になっても月経を経験しない女性がいる。日本産科婦人科学会では「18歳を超えて」と定義しているが、私どもは15歳の誕生日を迎えても初経がない場合には受診を勧めている。視床下部や下垂体、卵巣、子宮、膣などの障害が原因として考えられる。特に処女膜が閉じているためにおこる見せかけの無月経や先天的な膣の欠損などを知るには、婦人科診察を避けて通ることはできない。男性経験のない小学生や中・高校生には、この原因を図示して、「だから診察が必要なんだよ」と理路整然と説明すれば、診察を拒否する子どもは、私どもの経験からは皆無に近い。子どもにとっては、内科や小児科での診察とかわりがないと考えられるからだ。しかし、男性経験のある母親には、婦人科診察に異常なほどの拒絶反応があって、母親の影響のために、子どもも、「いやです」と拒否をすることがある。母親の無用な情報提供が、子どもたちの婦人科疾患の早期発見、早期治療を遅らせかねないというのは、由々しき問題である。

思春期女子の診療にあたって、医師としてもっとも大切なのは問診に加えて、体格、栄養、発育状態など全身の観察である。問診では、本人から直接正

確な情報を得ることで、病気に対して相当な判断が可能となる。この際、付き添いの母親に問いかけることを極力控えて、子どもとのやり取りを心がけることが、その後の患者－医師関係を築く上で大切である。特に月経の異常や月経痛、出血などは、からだの未熟性からくるものが多く、内科的な診察の後、ひとまず治療をすすめてみて様子を見るということが行われる。ホルモンの働きを知る方法としては、月経の記録をつけることや基礎体温（婦人体温計を使った安静時の体温）の測定が有効である。また最近では、超音波断層法という診療機器があって、お腹の中の状態が一見してわかり、この世代の診療に大きな役割を果たしている。診察室の入りから、椅子に座るまでに見せる患者の立ち居振る舞を見逃すことができないのはいうまでもない。

思春期外来には、しばしば高校生や大学生の男女が「妊娠」不安を訴えてやって来る。この世代の子どもたちが、妊娠を知ったときの対応には一定のパターンがあるようで、「妊娠だよ」と告げると、とっさに返ってくる言葉が「俺たちまだ高校生だし」。まだ高校生であるから、とても子育てはできない、経済力もないし、学校をやめるわけにはいかない。長い人生、あせらなくてもこれから何度でも妊娠はできるのだし、今から好んで苦勞することはない、と主張するのだ。もともとだと思う。

「でも・・・高校生であることは今になって始まったことじゃあない。妊娠する前から君たちは高校生。いや関係を持つ前から高校生なんだ」

こうやって、彼らの言葉を制して矛盾を明らかにするのだが、妊娠すると急に若くなるというのがこの世代の特徴である。彼ら自身も性行動の結末として妊娠が起こるであろうことは充分承知しているはずなのに、「親に知れたらやばい」「学校には知らせないで欲しい」の一点張りであらうたえている姿が何ともやるせない。

このような妊娠相談の場合、目の前でうろたえているカップルの言葉を単純には鵜呑みにできない難しさがある。「中絶を」と騒ぎ立てながら、「可能ならば産みたい」と願っていることがあったり、「産みます」とあっけらかんと訴える背後に、「中絶は恐

いから」というような思いが先行してことすらあるからだ。彼らがどのような選択をするにせよ、リプロダクティブライツ（産むか産まないかを自己決定する権利）を行使できるように支援することと、十分納得の上の合意のもとに選択し、後悔の日々を送ることにならないような指導が求められている。

2. 思春期外来、今後の課題

心身のアンバランスのために揺れ動いている思春期の子ども達。月経の悩みや妊娠などの重大な問題を抱えていても、容易には心を開かない子ども達との関わりには細心の気配りが必要である。集団を対象に行う性教育などによって基本的な知識を習得させることが大切であることはいままでもないが、合わせて個別の相談体制を整備することは急務である。電話相談もその一つであり、顔を見られない気安さがあるから本音の部分を窺い知ることができると言えなくはないが、できれば直接面接できる施設や思春期専門外来などをもっと充実させることが重要である。子ども達の問題は多様であって、婦人科診療だけでなく、内科、小児科、泌尿器科、精神科などを加え、スタッフも医師や保健婦、助産婦にとどまらずカウンセラー、ソーシャルワーカーなど、幅広くこの世代の子ども達の問題に対応できるチームを作って相談や診療に当たる施設の設置が期待される。現在、全国には思春期を専門とする外来を開設している施設は104施設に過ぎない。しかも、これらの施設は、単独では決して効率的な活動を実施することは不可能であり、保健・医療・福祉・教育・司法

など思春期と関係するあらゆる機関とが有機的な連携を図れるようなシステムを構築することが不可欠である。

E. 結論

今日ほど、地域の中で思春期への取り組みが積極的に行われる時代はなかった。思春期の子ども達の性行動の加速化、十代妊娠の増加、性を含めた思春期の子ども達からの相談の多様化、揺れ動く思春期の子ども達への対応に苦慮している親たちの増加などもあって、確かに時宜を得ているとは思われるが、その割には、相談や診療など受け入れ側の体制が十分に整備されているかとなると疑問である。

最小予算で最大効率を上げるためには、どのような事業展開が期待されるかなど、現在行われている事業の問題点を十分踏まえた対応が緊急に求められている。同時に、事業を動かすのはとりもなおさず「人」であるから、本事業に携わる各施設、各職種間の議論を重ねながら、「今私たちに何ができるか」ではなく「今私たちは何をしていったらよいか」を真剣に考えていくことが大切である。

一方、思春期外来にせよ、思春期相談にせよ、その主役はとりもなおさず「思春期」の子どもそのものである。今回の研究を通じて垣間みることのできた思春期の世界と、思春期のニーズを踏まえ、全国各地どこでも、いつでも、誰でも、気軽に利用できる思春期専門外来が次々と設置されることを強く望みたい。

資料1.

診療科目別にみた主な診療内容

<産婦人科系での主な診療内容>

月経異常	月経困難症	無月経	体重減少性無月経	多嚢胞卵巣症候群	月経人工移動		
内分泌異常	思春期遅発	思春期早発	性器発育不全	二次性徴の異常	低身長	性腺機能不全	性早熟症
外性器異常	性器分化異常	奇形	ターナー症候群				
性感染症	帯下	膣炎	掻痒感	外陰部湿疹			
腫瘍	卵巣腫瘍	子宮内膜症					
摂食障害	心身症	神経症	強迫神経症	不登校	心理療法	不定愁訴	
妊娠	中絶	避妊					
多毛	にきび	ボディーイメージの問題	るいそう	肥満			
思春期相談	性に関する悩み						
出産・育児不安（養子あっせんを含む）							

<小児科系>

小児内分泌	摂食障害				
不登校	心の悩み	自閉症	不定愁訴	自殺企画	
小児思春期婦人科	性器の疾患				
小児アレルギー	気管支喘息	アトピー性皮膚炎			
脱毛					

<精神科系>

不登校					
摂食障害	拒食症				
PMS	二次性徴異常				
暴力	家庭内暴力				
多動衝動性	精神発達	ひきこもり	閉じこもり		
心身医療	自律神経失調症	強迫神経症	過敏性腸症候群	心身症	不安神経症
児童心理					
薬物依存	薬物乱用	非行			
乗物恐怖	視線恐怖				
学業不振	親子関係				
精神科疾患	抑うつ状態	神経科	心の悩み		

<泌尿器科系>

包茎			
性感染症			
男性性機能障害	性機能障害		
性器発育不全	泌尿器奇形	精巣の発達	
夜尿症			

資料2.

【思春期のための施設ガイドブック～思春期専門外来編】

医療期間名	診療科目	県名	住所	電話番号	交通手段	開設日時	予約など備考
森産婦人科病院	産婦人科	北海道	旭川市南七条通7左2号	0166-22-6125	JR旭川駅下車。徒歩10分。車では4、5分	火曜日 木曜日 土曜日 8:45～12:30	
札幌東豊病院	産婦人科	北海道	札幌市東区北17条東15丁目	011-704-3911	地下鉄東豊線「環状通東駅」1番出口徒歩3分	土曜日 13:30～16:30	不定期のため電話にて確認
北海道大学医学部付属病院	産婦人科	北海道	札幌市北区北14条西5丁目	011-716-1161	南北線北十二条駅下車、徒歩7、8分	毎週月曜日10時から11時	
青森労災病院	産婦人科	青森県	八戸市白銀町南ヶ丘1	0178-33-1551	JR八戸線「白銀」駅下車徒歩7分	月曜日 15:00～17:00	予約制
岩手医科大学医学部付属病院	産婦人科	岩手県	盛岡市内丸19-1	019-651-5111	「盛岡」駅より徒歩20分	月曜日から金曜日、8:30～17:00 第一、第四土曜日 8:30～12:00	
古川市立病院	産婦人科	宮城県	古川市千手寺町2-3-10	0229-28-3311		毎週木曜日15時～17時	
仙台市立病院	産婦人科	宮城県	仙台市若葉区清水小路3-1	022-266-7111	地下鉄「五橋」駅下車	木曜日 14:00～17:00	診療時間短縮、休診があるので電話にて確認を
角田千恵子レディースクリニック	産婦人科	宮城県	仙台市若林区大和町1-1-15	022-783-8612	仙台駅市営バス5番乗り場大和町線「大和町1丁目」下車バス停前	月曜日 火曜日 金曜日 9:00～17:00 水曜日 14:00～18:00 土曜日 9:00～12:30	時間外応相談 不明な点は電話問い合わせください
向仁会永井病院	産婦人科	宮城県	仙台市青葉区支倉町	022-222-5582	仙台駅から交通局行きバス終点下車。東北大学医学部附属病院より2、3分	火曜日 15時～18時 (応相談)	
東北大学医学部付属病院	産婦人科	宮城県	仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7735	仙台駅から交通局行きバス終点下車。	毎週月曜日	
長池産婦人科	産婦人科	宮城県	仙台市青葉区中央3-4-2	022-266-0533	「仙台」駅より徒歩5分	月曜日～金曜日(水曜日を除く) 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00	
長池女性健康相談所	産婦人科	宮城県	仙台市青葉区中央3-4-2	022-266-0533	「仙台」駅より徒歩5分	月曜日～金曜日(水曜日を除く) 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00	

針生婦人科内科クリニック	産婦人科	秋田県	秋田市広面字近蔵堤添49-1	018-832-6663	秋田駅西口⑫番 大学病院行き「三吉神社前」下車	月曜日～土曜日 9:30～12:30(受付～11:30) 月曜日～土曜日 14:00～18:00(受付～17:00) 火曜日 金曜日 は～20:30(受付～19:30)	月経異常の場合基礎体温持参が望ましい
東北中央病院	産婦人科	山形県	山形市和合町3-2-5	023-623-5111	JR山形駅より沼の辺行きバス「東北中央病院前」下車	火曜日 金曜日 14:00～17:00	予約制
公立藤田総合病院	産婦人科	福島県	伊達郡国見町大字塚野目字三本木14	0245-85-2121	JR藤田駅下車、徒歩15～20分。車では駅から5分。	第1・第3金曜日 13:30～17	
筑波大学付属病院	産婦人科	茨城県	つくば市天久保2-1-1	0298-53-3900	JR土浦下車。筑波大学中央行き筑波大学病院。	毎週火曜日13時～15時	予約制(18歳未満)
木下産婦人科医院	産婦人科	栃木県	宇都宮市峰1-17-2	028-661-4415	JR「宇都宮」駅より東野バス真岡方面行き	金曜日 15:00～18:00	異常がなく相談だけの場合は自費扱い。
医療法人帯経会大草レディースクリニック	産婦人科	栃木県	塩谷郡氏家町大字氏家2190-5	028-682-3000	JR宇都宮線「氏家」駅西口徒歩10分	火曜日 金曜日 15:00～17:00 水曜日 13:00～17:00	初診は金曜日 15:00～16:30受付
自治医科大学医学部付属病院	産婦人科	栃木県	河内郡南河内町薬師寺3311-1	0285-58-7376	東北本線「自治医大」駅より徒歩10分	水曜日 13:30～16:30	
医療法人清和会いえさか産婦人科医院	産婦人科	群馬県	前橋市表町2-9-2	027-224-1144	JR両毛線「前橋」駅北口より徒歩5分けやき並木西側	月曜日 水曜日 金曜日 10:00～17:30 土曜日 9:00～12:00	
越谷市立病院産婦人科	産婦人科	埼玉県	越谷市東越谷10-47-1	0489-65-2221	東武伊勢崎線「越谷」駅よりバス越谷市立病院行き	曜日 13:00～14:30	予約制
防衛医科大学学校病院	産婦人科	埼玉県	所沢市並木3-2	042-995-1511	西武新宿線「航空公園」駅下車徒歩5分	月曜日 10:00～14:00 火曜日 水曜日 9:00～10:30	紹介状が望ましい 可能であれば母親(保護者)との来院
国立千葉病院産婦人科	産婦人科	千葉県	千葉市中央区椿森4-1-2	043-251-5311	JR「千葉」駅よりモノレール「千葉公園」下車徒歩5分	月曜日 金曜日 8:30～11:00 火曜日 木曜日 10:00～12:00	初診時に必要と認めればカウンセリングを予約
慈恵医大柏病院	産婦人科	千葉県	柏市柏163-1	0471-64-1111	常磐線「北柏」駅下車徒歩10分	月曜日 木曜日 9:00～11:00	紹介状必要
重城産婦人科小児科	産婦人科	千葉県	木更津市万石358	0438-41-3700	JR内房線岩根駅下車。電話で確認。	月曜日～土曜日(木曜日を除く) 9:00～18:00	

岩倉病院	産婦人科	東京都	江戸川区南小岩7-27-22	03-3659-3215	JR総武線「小岩駅」南口昭和通り商店街200メートル左側	月曜日～金曜日 10:00～17:00 土曜日 10:00～12:00	1 保険証持参。予約、紹介状は必要なし
東峯婦人クリニック	産婦人科	東京都	江東区木場5-3-10	03-3630-0303	地下鉄東西線「木場」駅前	土曜日 13:00～15:00	予約制
虎の門病院	産婦人科	東京都	港区虎ノ門2-2-2	03-3588-1111	地下鉄銀座線「虎ノ門」駅下車出口③より徒歩3分	第3、4 金曜日 13:30～16:00受付 火曜日、水曜日 8:30～11:00(一般外来にて)	紹介状あれば望ましい 内分外来は再来専門のためまずは一般外来へ
東京慈恵会医科大学	産婦人科	東京都	港区西新橋3-25-8	03-3433-1111	JR「新橋」駅徒歩15分、地下鉄三田線「御成門」駅徒歩5分、日比谷線「神谷町」駅徒歩10分	月曜日 木曜日 13:30～15:00	紹介状あることが望ましい
総合母子保健センター愛育病院	産婦人科	東京都	港区南麻布5-6-8	03-3473-8321	地下鉄日比谷線「広尾」駅下車	水曜日 14:00～15:30	予約制
東京女子医科大学第二病院産婦人科	産婦人科	東京都	荒川区西尾久2-1-10	03-3810-1111	山手線「田端」駅北口より徒歩20分 バス10分	金曜日 13:00～15:30	予約制
林医院	産婦人科	東京都	三鷹市牟礼5-4-19	0422-43-7113	JR「吉祥寺」駅または京王線「千歳烏山」駅よりバス「南牟礼」下車徒歩1分	月曜日～土曜日 9:00～12:00 月曜日～金曜日 16:00～18:00	
はらメディカルクリニック	産婦人科	東京都	渋谷区千駄ヶ谷1-7-8	03-3470-4211	JR総武線「千駄ヶ谷」駅より徒歩3分		時間内予約制
真能クリニック	産婦人科	東京都	小平市学園西町2-13-37カミテビル2階	042-342-8280	西武多摩湖線「一橋学園」駅徒歩1分	予約にて	予約制 本人が了承すれば通常外来の中でも対応
(社)日本家族計画協会クリニック	産婦人科	東京都	新宿区市ヶ谷田町1-10 保健会館新館2階	03-3235-2694	JR、地下鉄有楽町線、南北線、都営新宿線「市ヶ谷」駅徒歩5分	火曜日 13:30～18:30 金曜日 13:30～15:30 第二土曜日 13:30～15:30	予約制 月曜日～金曜日 9:00～17:00に電話連絡婦人科の治療のサポートとして精神科医の連携有
橋原レディースクリニック	産婦人科	東京都	中央区銀座4-6-44	03-3535-1117	地下鉄「銀座」駅A6出口	月曜日～土曜日 9:30～13:00 月曜日～土曜日(木曜日 土曜日を除く) 15:00～18:30	受付随時
山田医院	産婦人科	東京都	中野区中野2-14-17	03-3384-3555		毎週土曜日14時～17時	

高島平クリニック	産婦人科	東京都	板橋区高島平1-12-6	03-3936-4164	都営三田線「高島平」駅下車徒歩15分	月曜日～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～14:00 水曜日 21:00～24:00 心身症外来	予約制
昭和大学病院 産婦人科	産婦人科	東京都	品川区旗の台1-5-8	03-3784-8000	山手線五反田駅より池上線または京浜東北線大井町駅より大井町線「旗の台」駅下車徒歩3分	水曜日 木曜日 15:00～16:00	予約制 婦人科の初診(月曜日～土曜日 9:00～11:00)で思春期外来でのフォローを要する場合思春期外来を予約
一宮クリニック	産婦人科	東京都	文京区本郷2-27-8 太陽館ビル1階	03-3818-5371	地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩1分	月曜日 金曜日 14:00～15:00 月曜日 金曜日 19:00～19:30 土曜日 13:00～14:00	電話予約が望ましい
中目黒レディースクリニック	産婦人科	東京都	目黒区上目黒1-16-8	03-3760-4664	地下鉄日比谷線中目黒下車。改札左に徒歩2分。	毎週土曜日10時～13時	
三宿病院	産婦人科	東京都	目黒区上目黒5-33-12	03-3711-5771	渋谷駅南口より21番のバスに乘車。下馬一丁目循環三宿病院下車。	毎週火曜日・金曜日9時～10時30分	
関根産婦人科医院	産婦人科	東京都	練馬区早宮2-24-10	03-3931-5588	有楽町線「平和台」下車。駅前案内板あり。徒歩8分。	毎週金曜日15時～16時	
横浜市立大学医学部病院	産婦人科	神奈川県	横浜市金沢市福浦3-9	045-787-2691	シーサイドライン「市大医学部」下車		予約制
茅ヶ崎徳洲会総合病院	産婦人科	神奈川県	茅ヶ崎市幸町14-1	0467-85-1122	JR茅ヶ崎駅下車。徒歩5分	水曜日17時～19時	
北里大学病院	産婦人科	神奈川県	相模原市北里1-15-1	0427-78-8111	小田急相模大野駅下車。バス1, 2番、北里大学病院行き。	火曜日・金曜日 13:30～16:30、水曜日 13:30～17時	
新潟県立小出病院	産婦人科	新潟県	北魚沼郡小出町日渡新田34	02579-2-2111	上越新幹線「浦佐」駅下車 上越線「小出」駅下車	木曜日 15:00～17:00	予約制
砺波総合病院	産婦人科	富山県	砺波市新富町1-61	0763-32-3320	北陸線高岡駅下車。城端線砺波駅下車。	月・水・金曜日午後	予約制

富山医科 薬科大学	産 婦 人科	富山県	富山市杉谷 2630	0764-34-2281	JR富山駅よりバ ス4番、30分程 度。	水曜日 金曜日 13: 00~16:30	予約制(電話 で産婦人科外 来へ申し込 み)
山梨医科 大学	産 婦 人科	山梨県	中巨摩郡玉 穂町下河原 1110	0552-73-1111	JR甲府駅南口。 バス7、8番で30 分程度。	木曜日 9:00~12: 00	予約制
羽島市民 病院	産 婦 人科	岐阜県	羽島市新生 町3-246	058-393-0111	名鉄竹鼻線竹鼻 駅下車。徒歩5 分。	金曜日 14:00~1 7:00	予約制(産 婦人科外来に 電話連絡)
岐阜県立 下呂温泉 病院	産 婦 人科	岐阜県	益田郡下呂 町幸田116 2	0576-25-2820	JR高山線「下呂」 駅下車徒歩5分	月曜日 水曜日 金曜 日 16:30~17:15	電話予約
岐阜大学 医学部付 属病院	産 婦 人科	岐阜県	岐阜市司町 40	058-265-1241	岐阜バス、市営バ ス、名鉄バス「大 学病院内」下車徒 歩5分	火曜日・水曜日 9:0 0~12:00(受付~1 1:00)	保険証が必要
須藤産婦 人科医院	産 婦 人科	静岡県	静岡市丸子 1-6-10	054-259-1446	静岡駅前から静 岡鉄道バス丸子 線「佐渡」下車徒 歩3分	思春期外来としての特 定なし	
静岡県立 総合病院	産 婦 人科	静岡県	静岡市北安 東4-27- 1	054-247-6111	静岡駅より県立総 合病院行きバス 終点	水曜日 14:30~1 6:30	予約制(産婦 人科外来へ電 話予約)
聖隷浜松 病院	産 婦 人科	静岡県	浜松市住吉 2-12-1 2	053-474-2222	JR浜松駅下車。 バス14番、15分 程度。	木曜日 15:00~1 7:00	予約制
医療法人 清恵会病 院	産 婦 人科	大阪府	堺市向凌中 町4-2-1 0	0722-59-3471	JR阪和線、南海 高野線「三国ヶ丘」 駅徒歩3分	火曜日 木曜日 土曜 日 午前	予約制
近畿大学 医学部付 属病院産 婦人科	産 婦 人科	大阪府	大阪狭山市 大野東377 -2	0723-66-0221	南海高野線「金 剛」駅下車バス1 5分	火曜日 木曜日 9:3 0~13:30	思春期外来と しての診察で はなく担当医 一名が対応
三宅産婦 人科内科 医院	産 婦 人科	大阪府	大阪市中心 区石町1- 1-1	06-6966-3063	地下鉄谷町線ま たは京阪電車「天 満橋」駅下車徒歩 1分	月曜日~金曜日 1 0:00~13:00 月 曜日~金曜日(水曜日 土曜日を除) 15:00 ~18:00	
聖バルナ バ病院	産 婦 人科	大阪府	大阪市天王 寺区細工谷 1-3-32	06-6779-1600	近鉄「上本町」徒 歩7分またはJR環 状線「鶴橋」徒歩1 0分	月曜日~金曜日 9: 00~15:00	予約制
大阪警察 病院	産 婦 人科	大阪府	大阪市天王 寺区北山町 10-31	06-3771-6051	JR環状線「桃谷」 駅より西へ徒歩7 分	金曜日 15:00~1 6:00	予約制 月曜 日~金曜日の 16:00~1 7:00に電話 にて予約受付
葵町クリ ニック	産 婦 人科	和歌山 県	和歌山市葵 町2-33	0734-32-7885	JR和歌山駅若浦 口行き。日赤病院 前下車、徒歩15 分。	月曜日~土曜日 9: 30~12:30 月曜日~金曜日 1 5:00~17:30	